

令和3年度 環境保全計画書

株式会社 ロック・フィールド 神戸ファクトリー

目 次

- ① 環境保全に関する基本方針
- ② 環境保全にかかわる組織の状況
- ③ 2020年度の重点目標・計画
- ④ 各種対策に係る計画
 - 1) 公害防止対策に係る計画
 - 目標
 - ばい煙発生施設からの排出規制にかかわる目標値および管理測定計画
 - 排水にかかわる水質管理目標および監視測定計画
 - 目標のために講じる措置・対策
 - 2) 地球温暖化対策に係る計画
 - 排出削減目標前年度の電気・燃料の使用量及び今年度の使用予定量
 - 二酸化炭素排出削減目標
 - 目標達成のための措置
 - 3) 公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画

令和3年度 環境保全計画書

株式会社 ロック・フィールド 神戸ファクトリー

① 環境保全に関する基本方針

《環境理念》

私達は地球と自然を大切にします。

私達の事業は、お客様に提供するSOZAIを通じて豊かなライフスタイルの創造に貢献することを柱としています。

この事業で用いる材料、エネルギーはすべて自然の恵みを受けたものです。

自然の恵みを大切に、余すことなく活用することが、私達のSOZAIの価値を高

め、さらに事業活動の意義を高めると考えます。

私達は地球環境に配慮した企業活動により、事業の発展と持続可能な社会の実現を目指します。

《環境方針》

1.汚染の予防

生物多様性並びに自然生態系の保全に配慮し、環境法令・条例および自主管理基準の順守により環境汚染の未然防止に努めます。

2.地球温暖化防止

地球温暖化への影響を配慮し、資源やエネルギーの効率的な使用に努めます。

3.循環型社会の実現

リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの取り組みを通して循環型社会の実現に貢献します。

4.継続的改善

環境活動の取り組みは計画的に行うとともに、必要な見直しを継続的に行い、改善を推進します。

5.社会との共生

お客様、株主、生産者、サプライヤー、従業員および地域社会に対しての情報開示と対話を大切に、社会との共生に努めます。

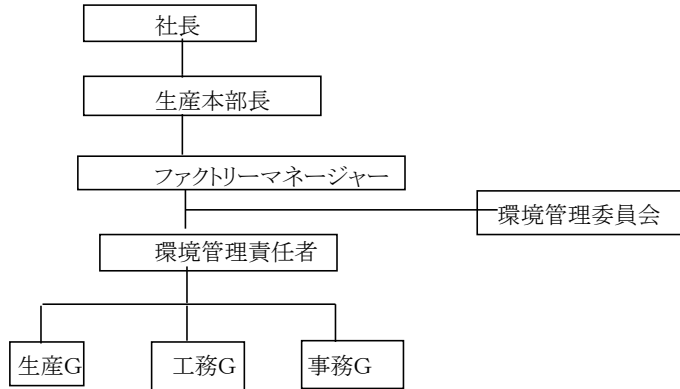
2016年8月

株式会社 ロック・フィールド

(資 料)

- ・リフューズ(Refuse) : 不要な物を買わない、貰わない、断ること。
- ・リデュース(Reduce) : ごみの発生量や資源の使用量を減らすこと。
- ・リユース (Reuse) : 一度、使ったものを廃棄せず、再利用すること。
- ・リサイクル(Recycle) : 一度使った物を廃棄せず、再び再資源化して利用すること

② 環境保全にかかわる組織の状況



③ 2021年度の重点目標・計画

●エネルギーの使用抑制

《目標》 電気使用量を 年間 7,681.8 千kwh以下に抑える

《目標》 ガス使用量を 年間 789.2 千m³以下に抑える

●廃棄物の発生抑制

《目標》 動植物性残渣を 年間 368.5 t以下に抑える

《目標》 廃プラスチックを 年間 210.3 t以下に抑える

●資源の有効利用

《目標》 水の使用を 年間 106.6 千t以下に抑える

《目標》 コピー用紙使用量を 年間 1,906.9 kg以下に抑える

④ 各種対策に係る計画

1) 公害防止対策に係る計画

目標

	目 標
大気汚染防止対策	「大気汚染防止法」大気汚染防止法第4条第1項の排出基準に関する条例など法令を遵守する ばい煙発生施設からの排出規制を遵守する
水質汚濁防止対策	「水質汚濁防止法」「環境の保全と想像に関する条例」「下水道条例」などの法令の規定を遵守する。 できる限り非PRTR系物質で構成する薬剤を選択する
産業廃棄物対策	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の法令の規制を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。廃棄物の発生量を抑制するとともに再利用を促進する

ばい煙発生施設からの排出規制にかかわる目標値および管理測定計画

項目	自主規制値	目標値の根拠	定期測定の実施
1号機	規制値以下に抑える(但、規制値は現在猶予中) ダスト濃度0.10g/m ³ N 窒素化合物濃度150volppm以下		○ (2回/年)
2号機			○ (2回/年)
3号機			○ (2回/年)

排水にかかわる水質管理目標および監視測定計画

項目	自主規制値	目標値の根拠	定期測定の実施
PH	5~8	神戸市下水道条例による数値を上回る水質	○ (1回/日)
BOD	180以下	水質使用料徴収の非該当値内	○ (1回/週)
SS	180以下	水質使用料徴収の非該当値内	○ (1回/週)
ノルマルヘキサン	5以下	水質使用料徴収の非該当値内	○ (1回/週)

目標のために講じる措置・対策

大気汚染防止対策	ボイラーを0.65MPa以下での運転 ばい煙発生施設を定期的に工務Gの巡回にて監視 毎月1回メーカーによる点検
水質汚濁防止対策	除外施設の適正な維持管理につとめ、排水の水質測定を 定期的に行う。 PRTR法規制対象物質の排出抑制に努める 定期的な使用機器の保守管理
産業廃棄物対策	法令の規制を遵守し、法定の記録、報告を実施する 小集団活動により発生の抑制をめざす 分別を徹底し、適切なりサイクルを行う

2) 地球温暖化対策に係る計画

○排出削減目標前年度の電気・燃料の使用量及び今年度の使用予定量

活動の区分	燃料の種類	単位 発熱量	使用量(使用予定量)		単位
			前年度実績	今年度目標	
燃料の使用	都市ガス	45	766,300	789,200	Nm ³
	その他				kg
電気事業者 から供給され た電気			7,553,500	7,681,800	kwh
熱供給事業 者から供給さ れた熱					MJ

○二酸化炭素排出削減目標

温室効果ガ ス		排出量(t-CO ₂)	
		前年度	今年度
二酸化炭素	電気	2,570	2,610
	ガス	1,720	1,770
	計	4,290	4,380

目標達成のための措置

コロナ禍の影響を受け、期初生産量の増減に沿ってエネルギー資源の抑制を実施。
生産効率の効率化、小集団活動による省エネ活動など増減以上の目標達成を目指す。

3) 公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画

分野		項目	目標
事業所等での廃棄物の適正処理	分別	分別の徹底	教育による徹底
	コピー用紙の使用削減	裏紙活用、両面化、集約化の推奨	継続実施
	作業のペーパーレス化	作業区のパソコン活用	作業のペーパーレス化
	適正処理	中間処理場の確認	視察計画に沿った処分場の確認
従業員教育		教育の年間計画策定	計画された教育の実施
		環境に関する外部教育・セミナー参加	2人/年
		小集団活動による主体的な取組の推進	重点目標の達成
環境管理システムの充実		ISO14001認証継続	活動の改善継続
		内部監査実施	年2回実施
社外のとりのくみへの協力		リサイクル協力企業の候補を探す	1つの取り組み事象を残す